

アルメニアワイン・プロモーション in FOODEX Japan 2025

事前説明会開催のご案内

2025年1月20日（月）

（一社）ROTOBO

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さてこの度、（一社）ROTOBOは、経済産業省の助成を得て、アルメニア・ワイン基金率いるアルメニアのワイナリー企業グループを日本へ招聘し、3月11日～14日に東京ビックサイトにて開催される「FOODEX JAPAN 2025」への出展を支援致します。

コーカサスの内陸に位置するアルメニア共和国は、人口300万の小国ながら、紀元前にさかのぼる歴史と独自の言語、また世界規模のディアスポラによって知られています。6000年以上続くとされる醸造の歴史を誇るアルメニアのワインは、良質な気候条件、独自のブドウ品種、最先端の醸造技術の調和を魅力としており、日本では同じコーカサスの隣国ジョージアほどまだ知名度は高くありませんが、欧州などへの輸出は進んでおります。

3月のFOODEXでは、その枠内で開催される「FOODEX WINE 2025」会場にアルメニア特設ブースを設け、このユニークなワインを日本市場向けにご紹介する予定です。ついてはより多くの皆様にご来場いただきたく、事前説明会を開催致します。説明会では、アルメニア・ワイン基金総裁から簡単にアルメニアのワイン産業や出展企業についてご紹介いただくとともに、当会担当者より、ご来場方法等についてご説明申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。 敬具

開催概要

- ◆ 日時：2025年1月31日（金）15:00～16:00（現地時間：10:00～11:00）
- ◆ 主催：（一社）ROTOBO、アルメニア・ワイン基金
- ◆ 参加料：無料
- ◆ 言語：日英同時通訳
- ◆ 会議システム：Zoom。
※ブラウザ上で参加できるため、ソフトのインストールは不要です。申し込み締め切り後、お申し込みいただいた方に配信リンクをEメールにてお知らせします。
- ◆ 申し込み締切：2025年1月30日（木）12:00（日本時間）
- ◆ 申し込みURL：<https://forms.gle/BamW2AYfnXMC9GoYA>
- ◆ 本件連絡先：（一社）ROTOBO ロシアNIS経済研究所
 - 担当：中馬（ちゅうまん）、橋之爪、大隅
 - 共通連絡先：TEL；03-3551-6218 / Email；central-asia@rotobo.or.jp



アルメニアワイン・プロモーション in FOOD EX Japan 2025

事前説明会プログラム

2025年1月20日時点

日本時間 (アルメニア時間)	プログラム
15:00-15:05 (10:00-10:05)	◆モデレータ開会挨拶及び趣旨説明 輪島実樹 (一社) ROTOBO ロシア NIS 経済研究所副所長/部長
15:05-15:10 (10:05-10:10)	◆アルメニア側挨拶 A.ホヴァニシャン 駐日アルメニア共和国特命全権大使
15:10-15:30 (10:10-10:30)	◆アルメニア側挨拶 Z.ムラチャン アルメニア・ワイン基金総裁
15:30-15:45 (10:30-10:45)	◆日本側事務局による事業説明 輪島実樹 (一社) ROTOBO ロシア NIS 経済研究所副所長/部長
15:45-15:55 (10:45-10:55)	◆質疑応答
15:55-16:00 (10:55-11:00)	◆閉会



◆アルメニア・ワイン基金について◆

アルメニア・ワイン基金は、2016年に同国におけるワイン産業の効率的な発展および新しい発展プログラムや国家戦略導入を目的に、アルメニア政府（経済省）によって設立された国家機関です。

※ウェブサイト：<https://armwinetour.am>

※「FOODEX JAPAN 2025」の「アルメニア・ワイン基金/ROTOBO ブース」出展企業については別添1をご参照ください。

FOODEX Japan 2025
「アルメニア・ワイン基金/ROTOBO ブース」出展企業

2025年1月20日時点

	組織・会社名	組織概要
1	ヴォスケヴァス・ ワインセラー  VOSKEVAZ WINERY	<p>アルメニア最高峰アラガツ山の麓に位置するワイナリー。1932年に設立され、現在はホヴァニシャン一家が経営している。地元のブドウ品種のみを使用し、古くからワインの発酵と熟成に使用されてきた「カラス」(粘土製の甕)を使った製造法と、近代的なワイン製造技術の両方を用いている。甘口ワインの生産においてはパイオニア的存在であり、ブドウを吊るして干し風味を凝縮する「カハニ」製法を復活させた。ワイナリー一帯は古い町並みを再現した建物が立ち並び、観光施設としても話題を呼んでいる。</p> <p>公式サイト: http://www.voskevaz.am/</p>
2	ヴァン・アルディ・ ワイナリー  VanArdi	<p>アルメニア西部のアラガツォトウン地方に位置する、創設者のムラジャン氏とその家族が経営するワイナリー。有機農法で栽培したアルメニア固有のブドウ品種を使用し、人の手による介入を最小限にした製法を取る。積極的に輸出も行っており、北米、ロシア、北欧、中東欧等に輸出している。また、アルメニア初のプティックワイナリーとして、音楽やアート、ダンス等の文化体験とワインを楽しむイベントを日々開催し、アルメニアのワインツーリズムの発展へ貢献している。</p> <p>公式サイト: https://www.vanardi.com/</p>
3	ゲヴォルキャン・ ワイナリー  GEVORKIAN WINERY <small>ANCIENT WORLD WINE ARMENIA - 4000 YEARS OF WINEMAKING TRADITIONS</small>	<p>エレバン郊外でアルメニア固有のブドウ品種および果実類を使用したワインを製造している。「カラス」製法に加え、ヨーロッパの伝統的製法を取り入れている。アイスワイン製造においては、ドイツの伝統を適用している。また、フルーツワインの独特なパッケージが特許を取得しているほか、安全性を確保するための国家規格である「ISO22000」を取得している。国際市場にも広く展開しており、日本へも輸出している。</p> <p>公式サイト: https://gevorkianwinery.com/ru/</p>
4	マヌキャン・ブランデー 工場  MANUKYAN WINE AND BRANDY FACTORY	<p>アルメニア中部のコタイク地方に位置する。1989年に設立されたガラス容器工場から発展し、現在はワインおよびブランデーメーカーとして国内外で名を馳せている。古代のアルメニアのワイン醸造の伝統を守りつつ、最新のヨーロッパ製設備を使用している。熟成にはアルメニア産だけでなく、米国産やフランス産のオーク樽を使用。「ホラニ」シリーズはアルメニア市場で高い人気を誇っている。</p> <p>公式サイト: http://www.manukyanbrandy.am/</p>
5	アグロ・マネージメント  ALLURIA	<p>エレバン郊外に所在。ブランド名は「アリュリア・ワイン」。何世紀にもわたる、創業家マチュニャン一家のワイン作りの伝統を受け継いだ自然派ワインが魅力。原材料のブドウは一切の農薬を使わないだけでなく、土壌への除草剤等の散布も行わないという徹底した自然農法で栽培されている。製造においても可能な限り自然発酵を採用し、酸化防止剤の添加も極力抑えられている。顧客が自分のワインを好きなだけ保管できる無料サービスは訪問者から人気が高い。</p> <p>公式サイト: https://alluria.wine/</p>

	組織・会社名	組織概要
6	ハイランド・セラー 	<p>ワインブランド「KOOR」は2015年に創設された。世界最古のワイナリーが発見された同国南部のヴァヨツ・ゾール地方のブドウ畑で栽培されているアルメニア固有のブドウ品種を伝統的な方法でブレンドし、最新技術を使用してワインを製造する。最高レベルの専門家により、ブドウの選定から製造技術、ラベルデザインに至るまで徹底的なこだわりが追及されている。ブランド名は、ロゴにもデザインされているアルメニア商人の船「KOOR」にちなんでつけられた。</p> <p>公式サイト：http://www.koor.am/</p>
7	アレクサンドリア・ワイナリー 	<p>熱心なワイン愛好家であったカブラニャン氏が創設したワイナリー。カリフォルニア州における、自身のワイン製造の経験をもとに、故郷アルメニアにて、固有のブドウ品種を使ったワイン製造を開始。アルメニア最高峰のアラグツ山麓と、世界最古のワイナリーが発見されたヴァヨツ・ゾール地方にブドウ畑を所有。そこで栽培したブドウ品種を使用し、伝統的な製法と最新の技術や設備を融合させ、常に新たなブレンドを作り出している。</p> <p>公式サイト：http://www.alexandreawinery.com/</p>
8	フルゼ・エステート・ワイナリー 	<p>「ルサレフ」は2001年に南部ヴァヨツ・ゾール地方の村で創設されたブランド。村で栽培されるブドウを購入することで地域の農業を支援するという目標を掲げている。基本的に、「ルサレフ」のワインには、「アレニ (Areni)」と「ヴォスケハット (Voskehat)」という2種類の固有品種が使用されている。2021年、国際基準に沿った工場改装と最新の機械を導入したことで、アルメニア市場でのワイン販売実績をさらに伸ばしている。</p> <p>公式サイト：https://frunzeestatewinery.com/</p>
9	イジェヴァン・ワイン・ブランデー工場 	<p>北部タヴシュ地方に位置するワイン・ブランデー工場。1951年創業。創業当初は様々な種類のワイン、コニャック、シャンパンを製造していた。ソ連崩壊後の1996年に民営化され、大規模な改修と現代的なラインの導入が行われた。工場には、ヨーロッパでワイン学の学位を取得した専門家が多数在籍。所有するブドウ畑は3000ha以上。現在は飲料以外にも、フルーツペーストや缶詰、ドライフルーツ等も製造している。製品はロシア、バルト三国、米国等へ輸出されている。</p>
10	ヒン・アレニ 	<p>南部ヴァヨツ・ゾール地方にて、2013年にカラペチャン家によって設立された。最新の技術と伝統的なワイン醸造の手法を組み合わせた製造法を採用しており、イタリアとフランスから最新設備を導入している。赤ワインは国産のオーク樽で熟成させている。ワイナリーは年間250t以上のブドウを処理することができる。ワインは全て単一品種で作られており、使用されるのはアルメニアの固有品種である「アレニ (Areni)」と「ヴォスケハット (Voskehat)」のみである。</p> <p>公式サイト：https://hinareniwine.am/</p>

アルメニア地方区分とブドウ品種分布

